

番号	57	名称	四谷見附橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	麴町六丁目 5 番地 (外濠)
設計者		竣工	昭和 62 年 (1987) 架替



### 歴史・文化的特徴

旧四谷見附橋は、麴町大通りと外堀通りを直結するルートとして、また明治 42 年 (1909) 竣工の赤坂離宮への導入部として大正 2 年 (1913) に架けられた。赤坂離宮とのデザインの相関性や導入部としての演出が指摘されている。

現在の橋は橋灯などの細部や全体のデザインに旧橋のそれを継承してつくられている。

### 意匠・構造の特徴

大正 2 年 (1913) の旧四谷見附橋のネオバロック風のデザインを継承した古典的な意匠が特徴的。

方杖ラーメンのアーチ橋として優美な姿を見せる。橋桁側面の色は薄緑色。

### 周辺景観との関係

歩行者は高欄、橋灯、橋名坂といった古典的な意匠を身近に見ることができる。

橋梁上は外濠周辺の開放的な景観の眺望点となっている。

周辺道路から橋梁全景を見ることができるが、JR ホームをまたぐ形となり、旧四谷見附橋が見せていたような優美なアーチの形状は良く認識できない。

JR 中央線ホームからはアーチ橋の煉瓦に石貼の橋台をよく見ることができ、四ツ谷駅のランドマークとなっている。車両、歩行者とも交通量の多い橋梁である。